By Maya Jones





マヤ・ジョーンズ

1994年、英国・イングランド南東に位置するハンプシャー州生まれ。父親が英国人、母親がコロンビア人という家庭で育ち、幼少期から外国語と異文化に興味を抱く。2021年、ロンドン大学卒。専攻は日本語。在学中に来日し、1年間、東京外国語大学で学んだ。英国で開催された大学生対象の日本語スピーチコンテストで優勝するなど、卓越した日本語力を生かし、22年9月から東京都大田区の「おおた国際交流センター(Minto Ota)」で国際交流員として多文化共生を促進する仕事に従事している。趣味は絵画、写真、旅行、音楽・美術鑑賞など多岐にわたる。

Friendship across cultures blooms when we ignore differences and share laughs

Before moving to Japan, I was told that it would be hard to make Japanese friends. There are, of course, cultural and language barriers which lend credence to this notion.

Westerners tend to be loud and outspoken, making us at times appear somewhat eccentric from a Japanese perspective. During my student year abroad, I only had one or two Japanese friends that I occasionally met up with, choosing to spend most of my free time with other foreign exchange students for fear of not

fitting in.

Even when I moved to Japan for work, I was quite **reserved** with my Japanese colleagues, not wanting to be perceived as the outlandish foreigner.

Contrary to my expectations, it was only after I started being my typical "foreign" self that making Japanese friends became easier than ever before! My new friends and I enjoy spending time together precisely because of our differences, which often make for entertaining conversations, and each day provides us with new

opportunities to learn about each other's culture.

They even praise traits that I had worried would be frowned upon, such as my tendency to speak my mind more often than what is customary in Japan.

What surprised me the most was just how similar we were after all. Despite the distance between our home countries, and the differences in our culture and upbringing, we share the same desires and worries, we laugh at the same jokes, and we even enjoy a bit of cheeky gossip now

and again

音声と本文は一部異なる場合があります。

lend...to

~の信憑(しんぴょう) 性を高める **outspoken** 遠慮なく言う、率直な

eccentric 風変わりな。後出の outlandish もほぼ同

for...in なじめないのが怖くて

reserved 打ち解けない Contrary to ~に反して **precisely...of** まさに~ゆえに

> make for 〜を生み出す、〜に役

立つ trait(s)

特徴 (be) frowned upon ひんしゅくを買う

customary 普通の

now and again 時折、たまに

対訳

相違点を気にせず笑いを共有するとき、文化を越えた友情が生まれます

日本に来る前、日本人の友だちを作るのは難しいだろうと言われていました。もちろん文化や言語の壁があり、それがこのような考えの信憑(しんぴょう)性を高めています。

欧米人は声が大きく、率直な傾向があるので、日本人の感覚からすると時に風変わりな印象を与えます。1年間の海外留学期間に、たまに会う間柄の日本人の友だちは一人か二人しかいませんでした。馴染めないのではという不安から、ほとんどの自由時間を他の外国人交換留学生たちと過ごしていました。

仕事で日本に住み始めたときも、おかしな外国人と思われたくなくて、日本人の同僚に対してかなりよそよそしい態度になっていました。

私の予想に反して、典型的な「外国人」の自分を出すようになって初めて、日本人

の友だちをつくるのがこれまでにないほど簡単になりました。新しくできた友だちと私は、お互いの違いがあるからこそ、一緒に過ごす時間を楽しめるし、その違いから楽しい会話が生まれます。毎日が、お互いの文化を知る新たな機会になるのです。

日本の習慣と比べて、もっと率直に自分の意見を言いがちなところなど、ひんしゅく を買うのではないかと恐れていた特徴を褒めてさえくれます。

最も驚いたのは、私たちが結局のところ、いかに似通っているかということでした。 故郷の国同士の距離、文化や育ち方の違いに関わらず、私たちは同じ願望や不安を 抱き、同じジョークで笑い、時には少しばかり、おちゃめなゴシップを楽しむことだって あるのです!

(訳 田端節子)